

ダイワ/シュロージャー・
グローバル高利回りCBファンド
(限定追加型)
為替ヘッジあり/為替ヘッジなし

★当ファンドの仕組みは次の通りでした。

商品分類	追加型投信/海外/債券	
信託期間	4年間(2012年5月17日~2016年5月16日)	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	為替ヘッジあり	イ. シュロージャー・グローバルCBファンド Aコース(為替ヘッジあり)(適格機関投資家専用)の受益証券(以下「シュロージャー・グローバルCBファンド Aコース」といいます。) ロ. ダイワ・マネーストック・マザーファンドの受益証券
	為替ヘッジなし	イ. シュロージャー・グローバルCBファンド Bコース(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)の受益証券(以下「シュロージャー・グローバルCBファンド Bコース」といいます。) ロ. ダイワ・マネーストック・マザーファンドの受益証券
運用方法	為替ヘッジあり	①主として、投資対象ファンドを通じて、魅力的な利回り水準を有する海外の転換社債(CB)に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。 ②当ファンドは、シュロージャー・グローバルCBファンド Aコースとダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。シュロージャー・グローバルCBファンド Aコースへの投資割合を通常の状態で高位に維持することを基本とします。 ③シュロージャー・グローバルCBファンド Aコースでは、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。
	為替ヘッジなし	①主として、投資対象ファンドを通じて、魅力的な利回り水準を有する海外の転換社債(CB)に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。 ②当ファンドは、シュロージャー・グローバルCBファンド Bコースとダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。シュロージャー・グローバルCBファンド Bコースへの投資割合を通常の状態で高位に維持することを基本とします。 ③シュロージャー・グローバルCBファンド Bコースでは、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、配当等収益等を全額分配します。ただし、基準価額の水準等を勘案し、売買益等も含めて分配を行なうことがあります。なお、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

運用報告書(全体版)
満期償還
(償還日 2016年5月16日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダイワ/シュロージャー・グローバル高利回りCBファンド(限定追加型)為替ヘッジあり/為替ヘッジなし」は、このたび、満期償還となりました。

ここに、謹んで運用状況と償還の内容をお知らせいたします。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先(コールセンター)

TEL 0120-106212

(営業日の9:00~17:00)

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

<3845>

<3846>

★為替ヘッジあり

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			期中騰落率	公社債組入比率	投資資産信託証券比率	純資産総額
	(分配落)	税込み	み金				
1 期末(2013年5月16日)	円 10,672	円 390	% 10.6		% 0.1	% 99.5	百万円 11,597
2 期末(2014年5月16日)	10,737	100	1.5		0.1	98.6	7,311
3 期末(2015年5月18日)	10,581	100	△ 0.5		0.1	99.2	6,006
償還(2016年5月16日)	10,268.70	-	△ 3.0		-	-	3,217

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

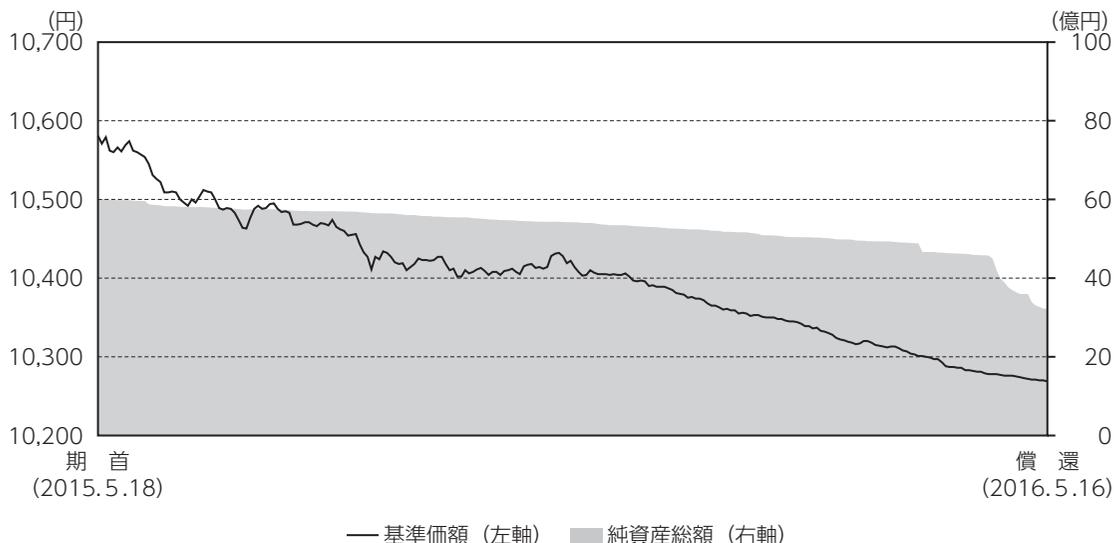
(注2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含まず。

(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注4) 当ファンドは、投資対象ファンドを通じて信託期間内に償還日を迎えるCB（転換社債）に投資し、償還日まで保有することを基本とします。当ファンドの値動きを表す適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

基準価額等の推移について



■基準価額・騰落率

設定時：10,000円

償還時：10,268円70銭（既払分配金590円）

騰落率：8.4%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

海外のC B（転換社債）等に投資した結果、投資したC B等が値上がりしたことから、基準価額は上昇しました。また、外貨建資産への投資にあたっては、為替ヘッジを行ない為替変動リスクの低減をめざしたため、為替相場の変動の基準価額への影響は軽微でした。なお、満期償還に備えるため2016年4月中旬にわが国の短期金融資産を中心とした安定運用に切替えたため、それ以降はグローバルC B等の値動きによる基準価額の変動はなくなりました。くわしくは「設定以来の投資環境について」をご参照ください。

ダイワ／シュローダー・グローバル高利回りCBファンド（限定追加型）為替ヘッジあり

年 月 日	基 準	価 額		公 社 債 率	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
		騰 落 率	率		
(期首) 2015年 5月18日	円	10,581	% -	% 0.1	% 99.2
5月末		10,562	△0.2	0.1	98.4
6月末		10,489	△0.9	0.1	98.9
7月末		10,471	△1.0	0.1	99.2
8月末		10,432	△1.4	0.1	98.1
9月末		10,402	△1.7	0.1	98.8
10月末		10,412	△1.6	0.1	99.2
11月末		10,404	△1.7	0.1	99.1
12月末		10,374	△2.0	0.0	98.1
2016年 1月末		10,350	△2.2	0.0	98.2
2月末		10,318	△2.5	0.0	98.0
3月末		10,297	△2.7	0.0	99.4
4月末		10,275	△2.9	-	-
(償還) 2016年 5月16日		10,268.70	△3.0	-	-

(注) 騰落率は期首比。

設定以来の投資環境について

○グローバルＣＢ市況

設定以来のグローバルＣＢ市況（米ドルベース）は上昇しました。2014年8月末まではほぼ右肩上がりの上昇でしたが、その後は上下に振れる展開となりました。2012年は、ＥＣＢ（欧州中央銀行）が困難に直面するユーロ加盟国の借り入れコスト引き下げに向けてOMT（国債の無制限購入プログラム）を発表したことや、ＦＲＢ（米国連邦準備制度理事会）がＱＥ３（量的緩和第3弾）を発表したことなどを背景に上昇しました。2013年は、ＦＲＢが市場の予想に反して、量的金融緩和の縮小先送りを決定したことなどにより、投資家のリスク選好姿勢が強まり上昇しました。2014年は、ＥＣＢが追加緩和を発表したことや日銀による予想外の追加緩和の実施、中国の利下げなどが相場の追い風となり上昇しましたが、米軍によるシリア空爆の実施や香港の民主化デモの勃発など地政学リスクが高まったことやＩＭＦ（国際通貨基金）が世界経済の成長率見通しを引き下げたこと、原油価格やロシア・ルーブルの急落、ギリシャでの政局不安が高まったことなどを背景に、下落する場面もありました。2015年は、ＥＣＢが国債買い入れを含む量的金融緩和策の導入を決定したことや、中国政府が金融緩和と財政出動などによる景気刺激策を通じて積極的に景気を支える姿勢を示したことで、5月末まで上昇しました。しかし6月から9月末にかけては、ギリシャ債務交渉の先行き不透明感や、中国株式市場および原油価格の急落、FOMC（米国連邦公開市場委員会）で利上げが見送られ世界経済の先行き懸念が強まったことなどから下落しました。その後12月末までは小動きとなり、年間ではほぼ横ばいとなりました。2016年の年初から償還までは、中国の株式市場や人民元の急落に加え、原油価格の下落や中東などの地政学リスクの高まり、欧州の一部大手銀行に対する信用不安などを背景に2月中旬にかけて下落しました。しかしその後は、米国の経済指標の改善により米国景気に対する過度な悲観論が後退したことやＥＣＢの追加緩和、原油価格の反発などから、4月末にかけて上昇しました。5月上旬には軟調な企業決算などを背景に小幅に下落しました。

信託期間中の運用方針

○当ファンド

シュローダー・グローバルCBファンド Aコース（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）（以下、「シュローダー・グローバルCBファンド Aコース」といいます。）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、シュローダー・グローバルCBファンド Aコースへの投資割合を通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

○シュローダー・グローバルCBファンド Aコース

魅力的な利回り水準を有する海外のCBに投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。なお、投資対象CBは信託期間終了までに償還もしくはプット行使日が到来する銘柄とします。また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。

○ダイワ・マネーストック・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産による安定運用を行ないます。

信託期間中のポートフォリオについて

○当ファンド

当ファンドは、シュローダー・グローバルCBファンド Aコースとダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。シュローダー・グローバルCBファンド Aコースへの投資割合を高位に維持しました。2016年4月中旬には満期償還に備え、わが国の短期金融資産を中心とした安定運用に切替えを行ないました。

○シュローダー・グローバルCBファンド Aコース

魅力的な利回り水準を有する海外のCBに投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないました。なお、投資対象CBは信託期間終了までに償還もしくはプット行使日が到来する銘柄である一方、時間の経過とともにそうした銘柄は少なくなったため、償還あるいはプットの行使によって得られた現金の再投資先として、一部は残存期間の短い米国債へ投資をしました。2016年に入ってから満期償還に備え、CBや米国債の償還や売却により徐々に現金比率を高めました。また、為替変動リスクを低減するために、為替ヘッジを行ないました。

○ダイワ・マネーストック・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産による安定運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

1万口当り、第1期390円、第2期100円、第3期100円の収益分配を行ないました。

受益者のみなさまにおかれましては、当ファンドをご愛顧いただき厚く御礼申し上げます。今後とも証券投資信託の運用につきましては、受益者のみなさまのご期待に沿えますよう万全を期して努力する所存でございますので、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

1万口当りの費用の明細

項 目	当期		項 目 の 概 要
	(2015.5.19~2016.5.16)		
	金 額	比 率	
信託報酬	120円	1.155%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10,400円です。
（投信会社）	(39)	(0.376)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（販売会社）	(78)	(0.752)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	(3)	(0.027)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	0	0.004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	121	1.159	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(注3) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

(1) 投資信託受益証券

(2015年5月19日から2016年5月16日まで)

国	買付	付		付	
		□ 数	金額	□ 数	金額
内	シュローダー・グローバルCBファンドAコース (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用)	千口	千円	千口	千円
		-	-	5,514,596.408	5,859,968

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2015年5月19日から2016年5月16日まで)

	設定		解約	
	□ 数	金額	□ 数	金額
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	千口	千円	千口	千円
	-	-	7,009	7,037

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) 当ファンドにおける期中の利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

(2) ダイワ・マネースtock・マザーファンドにおける期中の利害関係人との取引状況

(2015年5月19日から2016年5月16日まで)

決算期	当 期											
	買付額等 A		うち利害関係人との取引状況 B		B/A		売付額等 C		うち利害関係人との取引状況 D		D/C	
区分	百万円	%	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
公社債	93,246	10,740	11.5	2,822	-	-	-	-	-	-	-	-
コール・ローン	2,836,041	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 平均保有割合0.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ペビエファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期中における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

最終期末における該当事項はありません。

親投資信託残高

種 類	期 首	
	□	数
ダイワ・マネースtock・マザーファンド		千口 7,009

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2016年5月16日現在

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 3,330,719	% 100.0
投資信託財産総額	3,330,719	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2016年5月16日現在

項 目	償 還 時
(A) 資産	3,330,719,880円
コール・ローン等	3,330,719,880
(B) 負債	113,167,573
未払解約金	85,373,057
未払信託報酬	27,783,297
未払利息	6,070
その他未払費用	5,149
(C) 純資産総額(A - B)	3,217,552,307
元本	3,133,358,546
償還差損益金	84,193,761
(D) 受益権総口数	3,133,358,546口
1万口当り償還価額(C/D)	10,268円70銭

*期首における元本額は5,676,402,450円、当期中における追加設定元本額は7,321,695円、同解約元本額は2,550,365,599円です。

*償還時の計算口数当りの純資産額は10,268円70銭です。

■損益の状況

当期 自2015年5月19日 至2016年5月16日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 136,661円
受取利息	50,032
支払利息	△ 186,693
(B) 有価証券売買損益	△ 36,728,308
売買益	20,183,048
売買損	△ 56,911,356
(C) 信託報酬等	△ 61,089,478
(D) 当期損益金(A + B + C)	△ 97,954,447
(E) 前期繰越損益金	180,566,068
(F) 追加信託差損益金	1,582,140
(配当等相当額)	(1,589,710)
(売買損益相当額)	(△ 7,570)
(G) 合計(D + E + F)	84,193,761
償還差損益金(G)	84,193,761

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2012年5月17日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2016年5月16日		資産総額	3,330,719,880円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減 又は追加信託	負債総額	113,167,573円
				純資産総額	3,217,552,307円
受益権口数	16,367,601,213口	3,133,358,546口	△13,234,242,667口	受益権口数	3,133,358,546口
元本額	16,367,601,213円	3,133,358,546円	△13,234,242,667円	1単位当り償還金	10,268円70銭
毎計算期末の状況					
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1単位当り分配金	
				金額	分配率
	円	円	円	円	%
第1期	10,868,033,895	11,597,885,922	10,672	390	3.90
第2期	6,810,337,378	7,311,939,955	10,737	100	1.00
第3期	5,676,402,450	6,006,382,047	10,581	100	1.00

(注) 1単位は受益権1万口。

償 還 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 償 還 金	10,268円70銭

償還金の課税上の取扱いについて

- ・ 償還時の差益（償還価額から取得費用（申込手数料（税込み）を含む）を控除した利益）については、譲渡所得とみなされ、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率により、申告分離課税が適用されます。
- ・ 法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・ 税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・ 課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

《訂正のお知らせ》

作成対象期間の末日が2015年5月18日の交付運用報告書および運用報告書（全体版）につきまして、「1万口当りの費用の明細」の表の「項目の概要」における次の記載にて下線部が不要でした。お詫び申し上げますとともに、下線部を除いてお読み替えくださいますようお願い申し上げます。

「期中の平均基準価額（月末値の平均値）は10,693円です。」

★為替ヘッジなし

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			騰落率	公社債組入比率	投資資産信託証券比率	純資産総額	
	(分配落)	税分	込配					み金
1 期末(2013年5月16日)	円 13,567		円 500		% 40.7	% 0.1	% 98.0	百万円 2,156
2 期末(2014年5月16日)	13,665		150		1.8	0.1	97.4	983
3 期末(2015年5月18日)	15,098		200		12.0	0.1	98.8	936
償還(2016年5月16日)	13,702.70		-	△	9.2	-	-	388

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

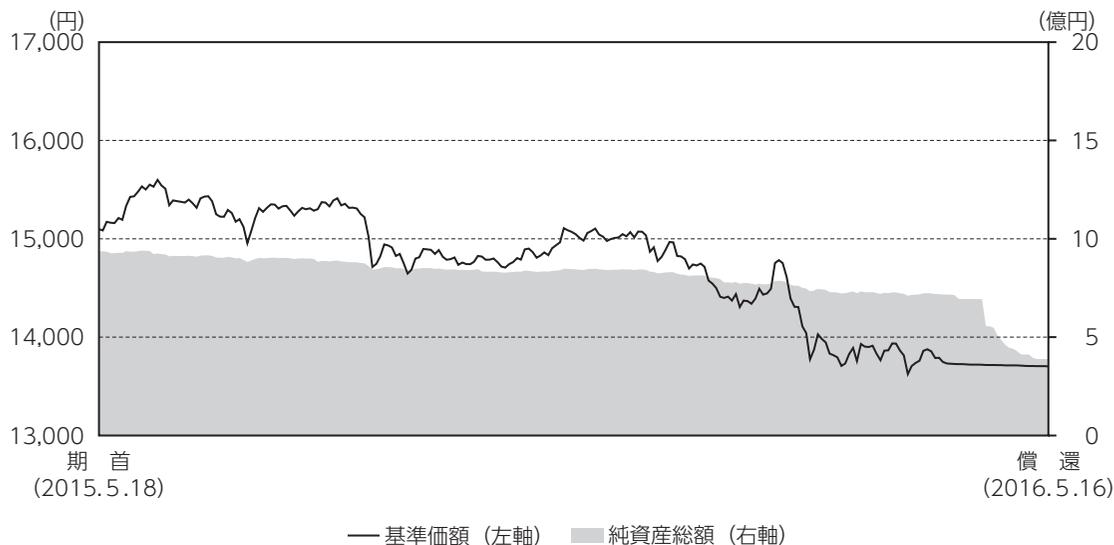
(注2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含まず。

(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注4) 当ファンドは、投資対象ファンドを通じて信託期間内に償還日を迎えるCB（転換社債）に投資し、償還日まで保有することを基本とします。当ファンドの値動きを表す適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

基準価額等の推移について



■基準価額・騰落率

設定時：10,000円

償還時：13,702円70銭（既払分配金850円）

騰落率：45.5%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

海外のCB（転換社債）等に投資した結果、投資したCB等が値上がりしたことや為替相場（主に米ドル円）が円安となったことから、基準価額は上昇しました。なお、満期償還に備えるため2016年4月中旬にわが国の短期金融資産を中心とした安定運用に切替えたため、それ以降はグローバルCBや為替等の値動きによる基準価額の変動はなくなりました。くわしくは「設定以来の投資環境について」をご参照ください。

ダイワ／シュローダー・グローバル高利回りCBファンド（限定追加型）為替ヘッジなし

年 月 日	基 準	価 額		公 社 債 率	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
		騰 落 率	率		
(期首) 2015年 5月18日	円	15,098	% -	% 0.1	% 98.8
5月末		15,432	2.2	0.1	99.1
6月末		15,225	0.8	0.1	99.6
7月末		15,300	1.3	0.1	98.9
8月末		14,933	△1.1	0.1	98.1
9月末		14,759	△2.2	0.1	98.6
10月末		14,862	△1.6	0.1	97.9
11月末		15,014	△0.6	0.1	98.0
12月末		14,748	△2.3	0.0	98.6
2016年 1月末		14,753	△2.3	0.0	97.8
2月末		13,890	△8.0	0.0	97.4
3月末		13,790	△8.7	0.0	98.5
4月末		13,712	△9.2	-	-
(償還) 2016年 5月16日		13,702.70	△9.2	-	-

(注) 騰落率は期首比。

設定以来の投資環境について

○グローバルC B市況

設定以来のグローバルC B市況（米ドルベース）は上昇しました。2014年8月末まではほぼ右肩上がりの上昇でしたが、その後は上下に振れる展開となりました。2012年は、E C B（欧州中央銀行）が困難に直面するユーロ加盟国の借り入れコスト引き下げに向けてOMT（国債の無制限購入プログラム）を発表したことや、F R B（米国連邦準備制度理事会）がQ E 3（量的緩和第3弾）を発表したことなどを背景に上昇しました。2013年は、F R Bが市場の予想に反して、量的金融緩和の縮小先送りを決定したことなどにより、投資家のリスク選好姿勢が強まり上昇しました。2014年は、E C Bが追加緩和を発表したことや日銀による予想外の追加緩和の実施、中国の利下げなどが相場の追い風となり上昇しましたが、米軍によるシリア空爆の実施や香港の民主化デモの勃発など地政学リスクが高まったことやI M F（国際通貨基金）が世界経済の成長率見通しを引き下げたこと、原油価格やロシア・ルーブルの急落、ギリシャでの政局不安が高まったことなどを背景に、下落する場面もありました。2015年は、E C Bが国債買い入れを含む量的金融緩和策の導入を決定したことや、中国政府が金融緩和と財政出動などによる景気刺激策を通じて積極的に景気を支える姿勢を示したことで、5月末まで上昇しました。しかし6月から9月末にかけては、ギリシャ債務交渉の先行き不透明感や、中国株式市場および原油価格の急落、F O M C（米国連邦公開市場委員会）で利上げが見送られ世界経済の先行き懸念が強まったことなどから下落しました。その後12月末までは小動きとなり、年間ではほぼ横ばいとなりました。2016年の年初から償還までは、中国の株式市場や人民元の急落に加え、原油価格の下落や中東などの地政学リスクの高まり、欧州の一部大手銀行に対する信用不安などを背景に2月中旬にかけて下落しました。しかしその後は、米国の経済指標の改善により米国景気に対する過度な悲観論が後退したことやE C Bの追加緩和、原油価格の反発などから、4月末にかけて上昇しました。5月上旬には軟調な企業決算などを背景に小幅に下落しました。

○為替相場

設定以来の為替相場は大幅な円安米ドル高となりました。米ドル円為替相場は、主に2つの期間で大幅に円安米ドル高が進行しました。2012年10月から2013年5月にかけては、日本において衆議院の解散と総選挙の実施が決定され金融緩和に積極的な党が勝利するとの思惑が強まったこと、衆議院選挙後の新政権がデフレ脱却に向けた強い姿勢を示したことで日銀への金融緩和圧力が高まったこと、日銀の量的金融緩和策が市場の予想を上回る内容だったことなどから、円安米ドル高となりました。2014年8月から11月末にかけては、米国の金利先高観、米国の量的金融緩和終了の決定、日銀の予想外の追加金融緩和実施などから円安米ドル高となりました。一方で、2016年2月から5月上旬にかけては、欧州の一部大手銀行の信用不安などを背景に市場のリスク回避傾向が強まったこと、米国の早期利上げ観測の後退や日銀が追加金融緩和を見送ったことから円高となり、設定以来の円安幅は縮小しました。

信託期間中の運用方針

○当ファンド

シュローダー・グローバルＣＢファンド Ｂコース（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）（以下、「シュローダー・グローバルＣＢファンド Ｂコース」といいます。）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、シュローダー・グローバルＣＢファンド Ｂコースへの投資割合を通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

○シュローダー・グローバルＣＢファンド Ｂコース

魅力的な利回り水準を有する海外のＣＢに投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。なお、投資対象ＣＢは信託期間終了までに償還もしくはプット行使日が到来する銘柄とします。

○ダイワ・マネーストック・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産による安定運用を行ないます。

信託期間中のポートフォリオについて

○当ファンド

当ファンドは、シュローダー・グローバルＣＢファンド Ｂコースとダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。シュローダー・グローバルＣＢファンド Ｂコースへの投資割合を高位に維持しました。2016年4月中旬には満期償還に備え、わが国の短期金融資産を中心とした安定運用に切替えを行ないました。

○シュローダー・グローバルＣＢファンド Ｂコース

魅力的な利回り水準を有する海外のＣＢに投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないました。なお、投資対象ＣＢは信託期間終了までに償還もしくはプット行使日が到来する銘柄である一方、時間の経過とともにそうした銘柄は少なくなったため、償還あるいはプットの行使によって得られた現金の再投資先として、一部は残存期間の短い米国債へ投資をしました。2016年に入ってから満期償還に備え、ＣＢや米国債の償還や売却により徐々に現金比率を高めました。

○ダイワ・マネーストック・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産による安定運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

1万口当り、第1期500円、第2期150円、第3期200円の収益分配を行ないました。

受益者のみなさまにおかれましては、当ファンドをご愛顧いただき厚く御礼申し上げます。今後とも証券投資信託の運用につきましては、受益者のみなさまのご期待に沿えますよう万全を期して努力する所存でございますので、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

1万口当りの費用の明細

項 目	当期		項 目 の 概 要
	(2015.5.19~2016.5.16)		
	金 額	比 率	
信託報酬	169円	1.155%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は14,674円です。
（投信会社）	(55)	(0.376)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（販売会社）	(110)	(0.752)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	(4)	(0.027)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	1	0.004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監査費用）	(1)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	170	1.159	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(注3) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

(1) 投資信託受益証券

(2015年5月19日から2016年5月16日まで)

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
内	シュローダー・ グローバル CBファンド Bコース (為替ヘッジなし) (適格機関投資家 専用)	-	-	595,697.305	859,739

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2015年5月19日から2016年5月16日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・マネースtock・ マザーファンド	-	-	904	907

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) 当ファンドにおける期中の利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

(2) ダイワ・マネースtock・マザーファンドにおける
期中の利害関係人との取引状況

(2015年5月19日から2016年5月16日まで)

決 算 期	当 期					
	買付額等 A		うち利害 関係人との 取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D
公社債	百万円 93,246	百万円 10,740	% 11.5	百万円 2,822	百万円 -	% -
コール・ローン	2,836,041	-	-	-	-	-

(注) 平均保有割合0.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ペビエ
ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への
支払比率

当期中における売買委託手数料の利害関係人への
支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される
利害関係人であり、当期中における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券で
す。

■組入資産明細表

最終期末における該当事項はありません。

親投資信託残高

種 類	期 首
	口 数
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	千口 904

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2016年5月16日現在

項 目	償 還 時
	評 価 額 比 率
コール・ローン等、その他	千円 392,716 % 100.0
投資信託財産総額	392,716 100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2016年5月16日現在

項 目	償 還 時
(A) 資産	392,716,672円
コール・ローン等	392,716,672
(B) 負債	4,391,537
未払解約金	279,860
未払信託報酬	4,110,280
未払利息	715
その他未払費用	682
(C) 純資産総額(A - B)	388,325,135
元本	283,393,093
償還差損益金	104,932,042
(D) 受益権総口数	283,393,093口
1万口当り償還価額(C/D)	13,702円70銭

*期首における元本額は620,412,078円、当期中における追加設定元本額は
419,700円、同解約元本額は337,438,685円です。

*償還時の計算口数当りの純資産額は13,702円70銭です。

■損益の状況

当期 自2015年5月19日 至2016年5月16日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 15,195円
受取利息	7,288
支払利息	△ 22,483
(B) 有価証券売買損益	△ 30,250,781
売買益	20,188,985
売買損	△ 50,439,766
(C) 信託報酬等	△ 9,261,352
(D) 当期損益金(A + B + C)	△ 39,527,328
(E) 前期繰越損益金	144,230,974
(F) 追加信託差損益金	228,396
(配当等相当額)	(229,811)
(売買損益相当額)	(△ 1,415)
(G) 合計(D + E + F)	104,932,042
償還差損益金(G)	104,932,042

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2012年5月17日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2016年5月16日		資産総額	392,716,672円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減 又は追加信託	負債総額	4,391,537円
				純資産総額	388,325,135円
受益権口数	4,125,221,101口	283,393,093口	△3,841,828,008口	受益権口数	283,393,093口
元本額	4,125,221,101円	283,393,093円	△3,841,828,008円	1単位当り償還金	13,702円70銭
毎計算期末の状況					
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1単位当り分配金	
				金額	分配率
	円	円	円	円	%
第1期	1,589,416,145	2,156,379,667	13,567	500	5.00
第2期	719,875,299	983,724,254	13,665	150	1.50
第3期	620,412,078	936,668,259	15,098	200	2.00

(注) 1単位は受益権1万口。

償 還 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 償 還 金	13,702円70銭

償還金の課税上の取扱いについて

- ・ 償還時の差益（償還価額から取得費用（申込手数料（税込み）を含む）を控除した利益）については、譲渡所得とみなされ、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率により、申告分離課税が適用されます。
- ・ 法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・ 税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・ 課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

《訂正のお知らせ》

作成対象期間の末日が2015年5月18日の交付運用報告書および運用報告書（全体版）につきまして、「1万口当りの費用の明細」の表の「項目の概要」における次の記載にて下線部が不要でした。お詫び申し上げますとともに、下線部を除いてお読み替えくださいますようお願い申し上げます。

「期中の平均基準価額（月末値の平均値）は14,556円です。」

ダイワ・マネースtock・マザーファンド

運用報告書 第6期（決算日 2015年12月9日）

（計算期間 2014年12月10日～2015年12月9日）

ダイワ・マネースtock・マザーファンドの第6期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
運用方法	①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。 ②円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA-2格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。
株式組入制限	純資産総額の10%以下

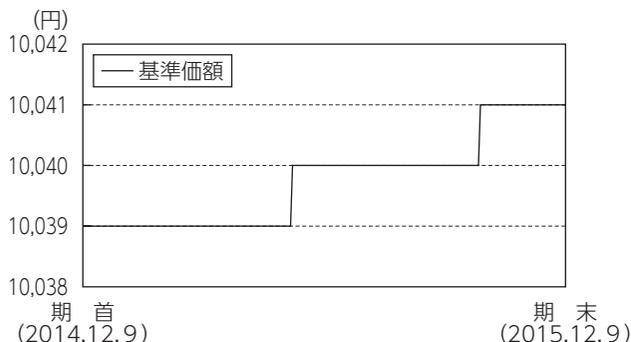
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額の推移



年 月 日	基準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率	%	
(期首)2014年12月9日	10,039	—	58.5
12月末	10,039	0.0	97.2
2015年1月末	10,039	0.0	71.6
2月末	10,039	0.0	62.6
3月末	10,039	0.0	56.0
4月末	10,039	0.0	58.0
5月末	10,040	0.0	59.9
6月末	10,040	0.0	56.2
7月末	10,040	0.0	57.4
8月末	10,040	0.0	55.6
9月末	10,040	0.0	59.3
10月末	10,041	0.0	71.0
11月末	10,041	0.0	52.1
(期末)2015年12月9日	10,041	0.0	51.6

- (注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
 (注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,039円 期末：10,041円 騰落率：0.0%

【基準価額の主な変動要因】

低金利環境で利息収入が僅少であったことなどから、基準価額はほぼ横ばいとなりました。

◆投資環境について

○国内短期金融市場

期を通じて、日銀は金融市場調節の操作目標をマネタリーベースとする量的・質的金融緩和政策を維持しました。このような日銀の金融政策を背景に、短期金融市場では低金利が続き、無担保コール翌日物金利は0.07%台を中心に推移しました。国庫短期証券（3カ月物）の利回りは日銀の買い入れによる需給ひっ迫等を背景に、△0.11～0.02%程度で推移しました。

◆前期における「今後の運用方針」

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行なってまいります。

◆ポートフォリオについて

短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産による安定運用を行ないました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行なってまいります。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用	—
合 計	—

(注) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2014年12月10日から2015年12月9日まで)

国 内	買 付 額	売 付 額
国債証券	75,714,577	—
		(43,770,000)

- (注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
 (注2) ()内は償還による減少分、上段の数字には含まれておりません。
 (注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2014年12月10日から2015年12月9日まで)

買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
568 国庫短期証券 2016/2/15	7,000,594		
574 国庫短期証券 2016/3/14	5,000,640		
573 国庫短期証券 2016/3/7	4,500,619		
540 国庫短期証券 2015/9/24	3,799,996		
557 国庫短期証券 2015/12/14	2,999,999		
567 国庫短期証券 2016/2/8	2,999,997		
520 国庫短期証券 2015/6/22	2,999,976		
555 国庫短期証券 2015/12/7	2,500,000		
553 国庫短期証券 2015/11/24	2,060,000		
536 国庫短期証券 2015/9/7	2,000,000		

- (注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
 (注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 国内（邦貨建）公社債（種類別）

区 分	当 期			末			
	額面金額	評 価 額	組入比率	うちB B格以下組入比率	残存期間別組入比率		
	千円	千円	%	%	5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	32,420,000	32,424,550	51.6	—	—	—	51.6

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
 (注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(2) 国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

区 分	銘 柄	当 期		末		償還年月日
		年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	債 還 年 月 日	
		%	千円	千円		
国債証券	557 国庫短期証券	—	3,000,000	2,999,999	2015/12/14	
	559 国庫短期証券	—	2,000,000	2,000,000	2015/12/21	
	560 国庫短期証券	—	1,600,000	1,599,999	2015/12/28	
	563 国庫短期証券	—	1,000,000	999,999	2016/01/18	
	566 国庫短期証券	—	1,500,000	1,499,999	2016/02/01	
	567 国庫短期証券	—	3,000,000	2,999,998	2016/02/08	
	568 国庫短期証券	—	7,000,000	7,000,594	2016/02/15	
	573 国庫短期証券	—	4,500,000	4,500,612	2016/03/07	
	556 国庫短期証券	—	1,000,000	1,000,123	2016/03/10	
	574 国庫短期証券	—	5,000,000	5,000,640	2016/03/14	
	575 国庫短期証券	—	1,500,000	1,500,448	2016/06/10	
	342 2年国債	0.1000	720,000	720,576	2016/07/15	
	100 5年国債	0.3000	600,000	601,560	2016/09/20	
合計	銘柄数 13銘柄		32,420,000	32,424,550		

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2015年12月9日現在

項 目	当 期		率
	評 価 額	比	
	千円	%	
公社債	32,424,550	40.2	
コール・ローン等、その他	48,181,367	59.8	
投資信託財産総額	80,605,918	100.0	

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2015年12月9日現在

項 目	当 期	末
(A) 資産	80,605,918,433円	
コール・ローン等	48,180,683,441	
公社債(評価額)	32,424,550,578	
未収利息	481,238	
前払費用	203,176	
(B) 負債	17,814,126,500	
未払金	17,502,126,500	
未払解約金	312,000,000	
(C) 純資産総額(A-B)	62,791,791,933	
元本	62,535,131,959	
次期繰越損益金	256,659,974	
(D) 受益権総口数	62,535,131,959口	
1万口当り基準価額(C/D)	10,041円	

* 期首における元本額は817,136,908円、当期中における追加設定元本額は80,209,414,361円、同解約元本額は18,491,419,310円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ米国担保付貸付債権ファンド(為替ヘッジあり) 112,594,660円、ダイワ米国担保付貸付債権ファンド(為替ヘッジなし) 73,734,556円、ダイワ米国バンクローン・ファンド(為替ヘッジあり) 2014-07 9,963円、ダイワ米国バンク

ローン・ファンド(為替ヘッジあり) 2014-09 9,963円、ダイワ米国バンクローン・ファンド(為替ヘッジあり) 2014-11 9,962円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド-ロボテック-3,983,667円、新興国ソブリン・豪ドルファンド(毎月決算型) 999円、新興国ソブリン・ブラジリアルファンド(毎月決算型) 999円、新興国ソブリン・ファンド(為替ヘッジあり/毎月決算型) 999円、アジア高利回り社債ファンド(為替ヘッジあり/毎月決算型) 999円、りそな毎月払出し・豪ドル債ファンド Aコース2,996,693円、りそな毎月払出し・豪ドル債ファンド Bコース2,494,264円、りそな毎月払出し・豪ドル債ファンド2 Aコース999,197円、りそな毎月払出し・豪ドル債ファンド2 Bコース698,255円、りそな毎月払出し・豪ドル債ファンド2 Bコース458,853円、りそな毎月払出し・豪ドル債ファンド3 Aコース1,994,416円、りそな毎月払出し・豪ドル債ファンド3 Bコース648,186円、りそな毎月払出し・豪ドル債ファンド3 Cコース179,498円、世界優先証券ファンド(為替ヘッジあり/限定追加型) 998円、US短期ハイ・イールド社債ファンド(為替ヘッジあり/毎月決算型) 3,988,832円、US短期高利回り社債ファンド(為替ヘッジあり/年1回決算型) 4,984円、ダイワ上場投信-日経平均レバレッジ・インデックス14,063,387,856円、ダイワ上場投信-日経平均ダブルインバース・インデックス2,983,307,364円、ダイワ上場投信-TOP I Xレバレッジ(2倍) 指数2,081,906,471円、ダイワ上場投信-TOP I Xダブルインバース(一2倍) 指数796,936,766円、ダイワ上場投信-日経平均インバース・インデックス37,546,378,604円、ダイワ上場投信-TOP I Xインバース(一1倍) 指数2,340,731,717円、ダイワ上場投信-J P X日経400レバレッジ・インデックス687,286,710円、ダイワ上場投信-J P X日経400インバース・インデックス278,916,205円、ダイワ上場投信-J P X日経400ダブルインバース・インデックス727,153,136円、ダイワ/シュローダー・グローバル高利回りCBファンド(限定追加型) 為替ヘッジあり7,009,001円、ダイワ/シュローダー・グローバル高利回りCBファンド(限定追加型) 為替ヘッジなし904,221円、ダイワ・プルベア・セレクト マネー・ポートフォリオ4,980,676円、ダイワ・プルベア・セレクト ドル高安ポートフォリオ258,995,899円、ダイワ・プルベア・セレクト 円高ドル安ポートフォリオ69,726,080円、ダイワ/モルガン・スタンレー新興4カ国不動産関連ファンド-成長の権首(つちおと) -11,000,000円、ダイワ/ハリス世界厳選株ファンド・マネー・ポートフォリオ197,260,107円、ダイワ・アセアン内需関連株ファンド・マネー・ポートフォリオ90,940,158円、ダイワ米国高利回り不動産証券ファンド19,942,168円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドⅡ 豪ドル・コース(毎月分配型) 4,184,518円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドⅡ ブラジリアル・コース(毎月分配型) 12,952,078円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドⅡ 通貨セレクト・コース(毎月分配型) 4,981,569円、ダイワUS短期ハイ・イールド社債ファンド(為替ヘッジあり/年1回決算型) 199,295円、ダイワ米国バンクローン・オープン(為替ヘッジあり) 997円、ダイワ米国バンクローン・オープン(為替ヘッジなし) 997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジあり) 997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジなし) 997円、<奇数月定額払出型>ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり49,806円、<奇数月定額払出型>ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし49,806円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル好配当株α(毎月分配型) 米ドル・コース4,980,080円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル好配当株α(毎月分配型) ブラジリアル・コース12,948,208円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル好配当株α(毎月分配型) 通貨セレクト・コース3,685,259円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり(毎月分配型) 399,083円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし(毎月分配型) 99,771円、通貨選択型ダイワ先進国リートα 円ヘッジコース(毎月分配型) 399,083円、通貨選択型ダイワ先進国リートα 通貨セレクトコース(毎月分配型) 99,771円、ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド(為替ヘッジあり) 20,016,725円、ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド(為替ヘッジなし) 4,000,959円、ダイワ/ミレアセット・アジア・セクターリーダー株ファンド49,850,449円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型)-ジャパン・トリプルリターンズ- 日本円・コース(毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型)-ジャパン・トリプルリターンズ- 豪ドル・コース(毎月分配型) 99,691円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型)-ジャパン・トリプルリターンズ- ブラジリアル・コース(毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型)-ジャパン・トリプルリターンズ- 米ドル・コース(毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型)-ジャパン・トリプルリターンズ- 通貨セレクト・コース(毎月分配型) 1,993,820円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド-イーグルアイⅡ- 予想分配金提示型 日本円・コース3,488,836円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド-イーグルアイⅡ- 予想分配金提示型 豪ドル・コース2,492,026円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド-イーグルアイⅡ- 予想分配金提示型 ブラジリアル・コース

3,488,836円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド－イーグルアイⅡ－ 予想分配金提示型 米ドル・コース19,936,205円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド－イーグルアイⅡ－ 予想分配金提示型 通貨セレクト・コース11,961,723円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,041円です。

■損益の状況

当期 自2014年12月10日 至2015年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	4,849,980円
受取利息	4,849,980
(B) 有価証券売買損益	△ 176,333
売買益	15,667
売買損	△ 192,000
(C) 当期損益金(A+B)	4,673,647
(D) 前期繰越損益金	3,178,379
(E) 解約差損益金	△ 74,181,691
(F) 追加信託差損益金	322,989,639
(G) 合計(C+D+E+F)	256,659,974
次期繰越損益金(G)	256,659,974

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／その他資産(転換社債)	
信託期間	2012年5月18日から2016年4月20日まで	
運用方針	信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	シュローダー・グローバルCBマザーファンド受益証券とします。ただし、市況動向等によっては、転換社債等に直接投資することもあります。
	シュローダー・グローバルCBマザーファンド	海外の転換社債を主な投資対象とします。
組入制限	当ファンドのマザーファンド組入上限比率	制限を設けません。
	マザーファンドの株式および外貨建資産の組入上限比率	株式の投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時(毎年3月15日)。ただし、当該日が休業日の場合は翌営業日)に、原則として利子・配当等収入と売買益(評価益を含みます。)等から、基準価額水準、市況動向等を勘案しながら決定します。なお、分配対象額が少額の場合等には、収益分配を行わない場合があります。	

シュローダー・グローバル CBファンド

Aコース(為替ヘッジあり)(適格機関投資家専用) /
Bコース(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)

繰上償還 運用報告書(全体版)

(償還日 2016年4月20日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、「シュローダー・グローバルCBファンド Aコース(為替ヘッジあり)(適格機関投資家専用) / Bコース(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)」は、2016年4月20日をもちまして繰上償還となりました。

ここに、謹んで設定以来の運用状況と償還内容をご報告申し上げます。

当ファンドをご愛顧いただいた皆様に心より感謝申し上げますとともに、今後とも弊社投資信託につきまして、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



Schroders

シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-3
丸の内トラストタワー本館21階
<http://www.schroders.co.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

- ・投資信託営業部 電話番号 03-5293-1323
- ・受付時間 9:00~17:00(土・日・祝日は除く)

Aコース（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	標準価額			新株予約権付社債 (転換社債) 組入比率	債券組入比率	純資産総額
		税分	込配	み金			
(設定日)	円 銭			円		%	百万円
2012年5月18日	10,000			—	—	—	16,260
1期(2013年3月15日)	10,612			458	10.7	98.2	12,066
2期(2014年3月17日)	10,739			200	3.1	88.7	7,370
3期(2015年3月16日)	10,713			90	0.6	63.1	6,294
4期(2016年3月15日)	10,634			0	△ 0.7	9.5	4,880
(償還時)	(償還価額)						
5期(2016年4月20日)	10,610.03			—	△ 0.2	—	4,549

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) 基準（償還）価額、税込み分配金は1万口当たり。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、新株予約権付社債（転換社債）組入比率および債券組入比率は実質組入比率を記載しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	標準価額		新株予約権付社債 (転換社債) 組入比率	債券組入比率
		騰	落率		
(期首)	円 銭		%	%	%
2016年3月15日	10,634		—	9.5	61.2
3月末	10,623		△0.1	2.2	63.4
(償還時)	(償還価額)				
2016年4月20日	10,610.03		△0.2	—	—

(注) 基準（償還）価額は1万口当たり。

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、新株予約権付社債（転換社債）組入比率および債券組入比率は実質組入比率を記載しております。

当ファンドはベンチマークおよび参考指数はございません。

Bコース（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	基準価額			新株予約権付社債 (転換社債) 組入比率	債券組入比率	純資産総額
		税分	込配	み金			
(設定日)	円 銭			円		%	百万円
2012年5月18日	10,000			—	—	—	4,099
1期(2013年3月15日)	12,859			548	34.1	94.5	2,208
2期(2014年3月17日)	13,760			260	9.0	91.4	987
3期(2015年3月16日)	15,302			240	13.0	63.6	921
4期(2016年3月15日)	14,455			0	△ 5.5	9.6	715
(償還時)	(償還価額)						
5期(2016年4月20日)	14,240.96			—	△ 1.5	—	554

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) 基準（償還）価額、税込み分配金は1万口当たり。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、新株予約権付社債（転換社債）組入比率および債券組入比率は実質組入比率を記載しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準価額	基準価額		新株予約権付社債 (転換社債) 組入比率	債券組入比率
		騰	落率		
(期首)	円 銭		%	%	%
2016年3月15日	14,455		—	9.6	61.4
3月末	14,310		△1.0	2.2	64.3
(償還時)	(償還価額)				
2016年4月20日	14,240.96		△1.5	—	—

(注) 基準（償還）価額は1万口当たり。

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、新株予約権付社債（転換社債）組入比率および債券組入比率は実質組入比率を記載しております。

当ファンドはベンチマークおよび参考指数はございません。

設定以来の運用環境および運用経過等

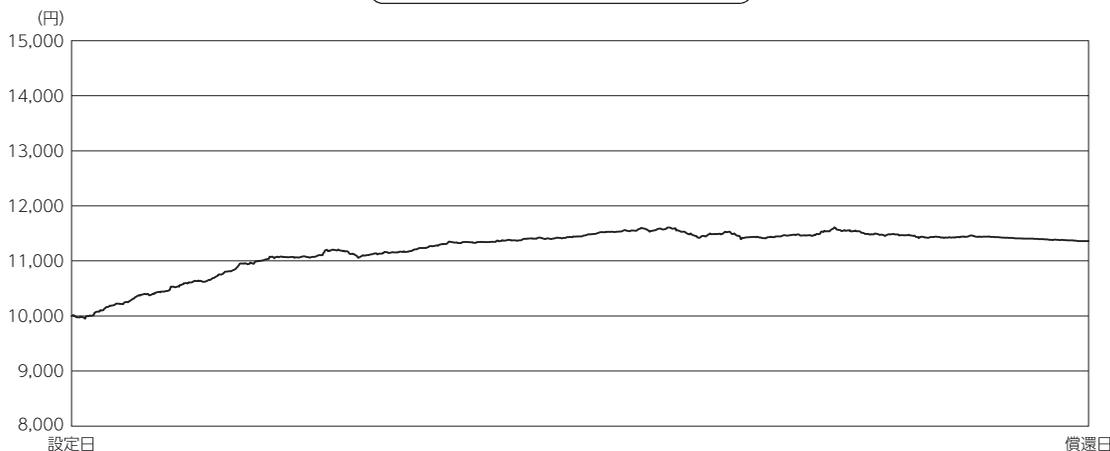
（2012年5月18日から2016年4月20日まで）

Aコース（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）

当ファンドは、この度、信託約款の規定に基づき2016年4月20日をもちまして、繰上償還いたしました。設定時、1万口当たり10,000円でスタートした基準価額は、10,610円03銭で償還日を迎えることとなりました。

なお、当ファンドの既払分配金の総額は1万口当たり課税前で748円となりました。

設定以来の基準価額の推移



	設定日 (2012年5月18日)	設定来最安値	設定来最高値	償 還 日	
				(2016年4月20日)	騰 落 率 (設定日比)
基準価額 (課税前分配金込み)	円 10,000	円 9,951	円 11,610	円 11,358.03	% 13.6

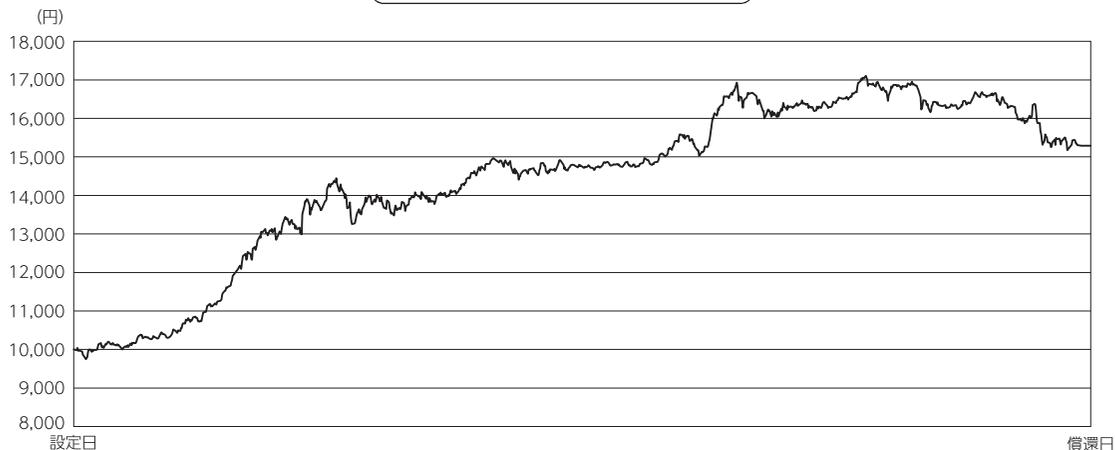
（注）基準価額の騰落率は、小数第2位を四捨五入しております。

Bコース（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）

当ファンドは、この度、信託約款の規定に基づき2016年4月20日をもちまして、繰上償還いたしました。設定時、1万口当たり10,000円でスタートした基準価額は、14,240円96銭で償還日を迎えることとなりました。

なお、当ファンドの既払分配金の総額は1万口当たり課税前で1,048円となりました。

設定以来の基準価額の推移



	設定日 (2012年5月18日)	設定来最安値	設定来最高値	償 還 日	
				(2016年4月20日)	騰 落 率 (設定日比)
基準価額 (課税前分配金込み)	円 10,000	円 9,744	円 17,109	円 15,288.96	% 52.9

(注) 基準価額の騰落率は、小数第2位を四捨五入しております。

第1期（2012年5月18日から2013年3月15日まで）

市況について

[各CB市場につきましては、米ドルベース（為替ヘッジあり）の騰落率に基づきご説明いたします。]

当期、グローバルCB市場は上昇しました。地域別では、米国CB市場が特に上昇して、グローバルCB市場の上昇をけん引した一方で、アジアCB市場（除く日本）の上昇は米国や欧州CB市場と比較して限定的となりました。また、欧州CB市場の上昇幅はグローバルCB市場のインデックス並みの上昇となりました。アジアCB市場（除く日本）の上昇幅は米国、欧州等のその他の市場と比べて限定的に留まりました。為替相場は当期において円安が進行しました。

運用について

キャッシュフロー管理のため、適宜保有銘柄について売却を行う局面もありましたが、基本的には設定以来クレジット・クオリティの高い（信用力が高い）銘柄を中心に、地域やセクターにおいて分散されたポートフォリオ運営を継続しました。

基準価額変動

Aコース

期首（設定日）10,000円でスタートした基準価額は11,070円（課税前分配金込み）で当期末を迎え、期首比10.7%の上昇となりました。

Bコース

期首（設定日）10,000円でスタートした基準価額は13,407円（課税前分配金込み）で当期末を迎え、期首比34.1%の上昇となりました。

基準価額変動の主な要因

北米、欧州、アジアと地域によって上昇の程度に違いが見られたものの、グローバルCB市場が全体的に上昇する中、当ファンドの基準価額は当該期間中において安定的に上昇しました。

<収益分配金>

当期の収益分配金は、基準価額の水準等を考慮し、Aコースは458円、Bコースは548円とさせていただきます（両コースともに1万口当たり、課税前）。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、当社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行いました。

第2期（2013年3月16日から2014年3月17日まで）

市況について

[各CB市場について、米ドルベース（為替ヘッジあり）の騰落率に基づきご説明いたします。]

当期、グローバルCB市場は上昇しました。地域別では、特に米国CB市場が上昇し、グローバルCB市場をけん引した一方、欧州CB市場の上昇幅はグローバルCB市場を下回り、アジアCB市場（除く日本）の上昇幅は限定的でした。為替相場は当期、円安米ドル高が進行しました。

運用について

キャッシュフロー管理のため保有銘柄の一部売却を行いました。設定来の運用方針に変更はなく、信用力の高い銘柄を中心とし、地域やセクターの分散されたポートフォリオを維持しました。

基準価額変動

Aコース

期首10,612円でスタートした基準価額は10,939円（課税前分配金込み）で当期末を迎え、期首比3.1%の上昇となりました。

Bコース

期首12,859円でスタートした基準価額は14,020円（課税前分配金込み）で当期末を迎え、期首比9.0%の上昇となりました。

基準価額変動の主な要因

米国、欧州、アジアの各市場によって上昇幅に違いが見られたものの、グローバルCB市場は全体として上昇し、当ファンドの基準価額は上昇しました。

<収益分配金>

当期の収益分配金は、基準価額の水準等を考慮し、Aコースは200円、Bコースは260円とさせていただきました（両コースともに1万口当たり、課税前）。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、当社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行いました。

第3期（2014年3月18日から2015年3月16日まで）

市況について

[各CB市場について、米ドルベース（為替ヘッジあり）の騰落率に基づきご説明いたします。]

当期、グローバルCB市場は上昇しました。地域別では、米国CB市場は上昇しましたが、グローバルCB市場の上昇幅を若干下回りました。欧州CB市場は上昇し、グローバルCB市場の上昇幅を若干上回りました。アジア（除く日本）CB市場の上昇幅は米国、欧州CB市場に及びませんでした。為替相場は当期、円安米ドル高が進行しました。

運用について

キャッシュフロー管理のため保有銘柄の一部売却を行いました。設定来の運用方針に変更はなく、信用力の高い銘柄を中心とし、地域やセクターが分散されたポートフォリオを維持しました。

基準価額変動

Aコース

期首10,739円でスタートした基準価額は10,803円（課税前分配金込み）で当期末を迎え、期首比0.6%の上昇となりました。

Bコース

期首13,760円でスタートした基準価額は15,542円（課税前分配金込み）で当期末を迎え、期首比13.0%の上昇となりました。

基準価額変動の主な要因

米国、欧州、アジアの各市場によって上昇幅に違いが見られたものの、グローバルCB市場は全体として上昇し、当ファンドの基準価額は上昇しました。

<収益分配金>

当期の収益分配金は、基準価額の水準等を考慮し、Aコースは90円、Bコースは240円とさせていただきます（両コースともに1万円当たり、課税前）。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、当社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行いました。

第4期（2015年3月17日から2016年3月15日まで）

市況について

[各CB市場について、米ドルベース（為替ヘッジあり）の騰落率に基づいた説明をします。]

当期、グローバルCB市場は下落しました。地域別では、米国CB市場は下落し、グローバルCB市場よりも大きい下落率となりました。欧州CB市場も同様に下落しましたが、下落率はグローバルCB市場を下回りました。アジア（除く日本）CB市場は各国主要CB市場の中では唯一上昇しました。為替相場は当期、円高米ドル安が進行しました。

運用について

当ファンドの投資対象CBは2016年5月までに償還もしくはプット行使日が到来する銘柄ですが、償還に向け短期国債の組入比率が高まりました。

基準価額変動

Aコース

期首10,713円でスタートした基準価額は10,634円（課税前分配金込み）で当期末を迎え、期首比0.7%の下落となりました。

Bコース

期首15,302円でスタートした基準価額は14,455円（課税前分配金込み）で当期末を迎え、期首比5.5%の下落となりました。

基準価額変動の主な要因

米国、欧州、アジアの各市場によって違いが見られたものの、グローバルCB市場は全体的に下落傾向で推移し、当ファンドの基準価額も下落しました。

<収益分配金>

当期の収益分配金は、基準価額の水準等を考慮し、見送りとさせていただきます。なお、留保益につきましては、特に制限を設けず、当社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行いました。

第5期（2016年3月16日から2016年4月20日まで）

市況について

[各CB市場につきましては、米ドルベース（為替ヘッジあり）の騰落率に基づきご説明いたします。]

当期、グローバルCB市場は上昇しました。主要金融当局が追加緩和策の導入もしくは引き締めの見送りを行うなど、景気に配慮する姿勢を明確にする中、中国経済の先行きに対する過度の懸念が縮小し、市場センチメントが改善しました。原油価格については、2016年4月上旬にやや調整がみられたものの、2月下旬からの回復傾向を概ね継続しました。

為替相場は当期、円高米ドル安が進行しました。米国の利上げペースが緩やかになる見通しなどを背景として円買いが進み、107円台後半の水準まで達しました。

運用について

2015年夏以降、中国経済に対する懸念が急激に高まり、これが中国株のみならずグローバルの株式市場を急落させる原因となりました。市場では2016年に入っても慎重な投資姿勢が優勢となっており、CB市場も変動性の高い相場展開が見込まれます。

なお、当ファンドの投資対象CBは2016年5月までに償還もしくはプット行使日が到来する銘柄とされていたため、時間の経過とともにそうした銘柄は少なくなり、償還に向け短期国債の組入比率が高まりました。

基準価額変動

Aコース

期首10,634円でスタートした基準価額は10,610円03銭（課税前分配金込み）で当期末を迎え、期首比0.2%の下落となりました。

Bコース

期首14,455円でスタートした基準価額は14,240円96銭（課税前分配金込み）で当期末を迎え、期首比1.5%の下落となりました。

基準価額変動の主な要因

2015年後半以降、市場のリスク回避姿勢が強い状態を背景として、先進国国債の利回り低下が進む一方で株式市場が軟調となり、CB市場も下げたことが、基準価額にも影響しました。一方、当ファンドの投資対象CBは2016年5月までに償還もしくはプット行使日が到来する銘柄とされていたため、時間の経過とともにそうした銘柄は少なくなり、償還に向け短期国債の組入比率が高まりました。

当ファンドは2016年4月20日をもちまして償還を迎えました。長らくのご支援、保有ありがとうございました。

Aコース（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）

○1万口当たりの費用明細

（2016年3月16日～2016年4月20日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	8	0.078	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(8)	(0.075)	<ul style="list-style-type: none"> ・ファンドの運用判断、受託会社への指図 ・基準価額の算出ならびに公表 ・運用報告書・有価証券報告書等法定書面の作成、および受益者への情報提供資料の作成等 ・運用報告書等各種書類の交付 ・口座内でのファンドの管理、および受益者への情報提供等 ・ファンドの財産保管・管理 ・委託会社からの指図の実行等
（ 販 売 会 社 ）	(0)	(0.001)	
（ 受 託 会 社 ）	(0)	(0.003)	
(b) そ の 他 費 用	1	0.005	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 印 刷 費 用 ）	(1)	(0.005)	・印刷費用は、印刷会社等に支払う運用報告書作成等に係る費用
合 計	9	0.083	
期中の平均基準価額は、10,623円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

（2016年3月16日～2016年4月20日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
シュロダー・グローバルCBマザーファンド	千口 50,300	千円 79,772	千口 3,086,576	千円 4,895,523

(注) 単位未満は切捨て。

Aコース（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）

○利害関係人との取引状況等

（2016年3月16日～2016年4月20日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

（2016年4月20日現在）

2016年4月20日現在、有価証券等の組入れはございません。

親投資信託残高

銘	柄	期首(前期末)	
		口	数
シュローダー・グローバルCBマザーファンド			千口 3,036,275

（注）単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

（2016年4月20日現在）

項	目	償 還 時	
		評 価 額	比 率
		千円	%
	コール・ローン等、その他	4,553,845	100.0
	投資信託財産総額	4,553,845	100.0

（注）金額の単位未満は切捨て。

Aコース（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）

○資産、負債、元本及び償還価額の状況（2016年4月20日現在）

項 目	償 還 時	円
(A) 資産	4,553,845,107	
コール・ローン等	4,553,845,107	
(B) 負債	3,875,498	
未払信託報酬	3,627,079	
その他未払費用	248,419	
(C) 純資産総額(A-B)	4,549,969,609	
元本	4,288,365,254	
償還差益金	261,604,355	
(D) 受益権総口数	4,288,365,254口	
1万口当たり償還価額(C/D)	10,610円03銭	

[元本増減]

期首元本額	4,589,603,790円
期中追加設定元本額	0円
期中一部解約元本額	301,238,536円

(注) 当ファンドは、マザーファンドにおいて外貨建資産等の運用の指図権限をフィッシュ・アセット・マネージメントAGに委託しております。その費用として、委託者報酬のうち、販売会社へ支払う手数料を除いた額より、運用権限委託契約に定められた報酬額を支払っております。

○損益の状況（2016年3月16日～2016年4月20日）

項 目	当 期	円
(A) 有価証券売買損益	△ 6,353,081	
売買益	86,156,003	
売買損	△ 92,509,084	
(B) 信託報酬等	△ 3,875,498	
(C) 当期損益金(A+B)	△ 10,228,579	
(D) 前期繰越損益金	271,854,183	
(E) 追加信託差損益金	△ 21,249	
(配当等相当額)	(38,033)	
(売買損益相当額)	(△ 59,282)	
償還差益金(C+D+E)	261,604,355	

(注) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

○投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2012年5月18日			投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2016年4月20日			資 産 総 額	4,553,845,107円
区 分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負 債 総 額	3,875,498円	
				純 資 産 総 額	4,549,969,609円	
受益権口数	16,260,000,000口	4,288,365,254口	△11,971,634,746口	受 益 権 口 数	4,288,365,254口	
元 本 額	16,260,000,000円	4,288,365,254円	△11,971,634,746円	1万口当たり償還金	10,610円03銭	
毎計算期末の状況						
計 算 期	元 本 額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金		
				金 額	分 配 率	
第1期	11,371,112,505円	12,066,700,524円	10,612円	458円	4.58%	
第2期	6,863,900,639	7,370,997,595	10,739	200	2.00	
第3期	5,875,529,648	6,294,255,337	10,713	90	0.90	
第4期	4,589,603,790	4,880,532,462	10,634	0	0.00	

○償還金のお知らせ

1万口当たり償還金（税込み）	10,610円03銭
----------------	------------

Bコース（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）

○1万口当たりの費用明細

（2016年3月16日～2016年4月20日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 11	% 0.078	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(11)	(0.075)	<ul style="list-style-type: none"> ・ファンドの運用判断、受託会社への指図 ・基準価額の算出ならびに公表 ・運用報告書・有価証券報告書等法定書面の作成、および受益者への情報提供資料の作成等 ・運用報告書等各種書類の交付 ・口座内でのファンドの管理、および受益者への情報提供等
（ 販 売 会 社 ）	(0)	(0.001)	
（ 受 託 会 社 ）	(0)	(0.003)	
合 計	11	0.078	
期中の平均基準価額は、14,310円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

（2016年3月16日～2016年4月20日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
シュロダー・グローバルCBマザーファンド	千口 —	千円 —	千口 446,742	千円 708,497

(注) 単位未満は切捨て。

Bコース（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）

○利害関係人との取引状況等

（2016年3月16日～2016年4月20日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

（2016年4月20日現在）

2016年4月20日現在、有価証券等の組入れはございません。

親投資信託残高

銘	柄	期首(前期末)	
		口	数
シュローダー・グローバルCBマザーファンド			千口 446,742

（注）単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

（2016年4月20日現在）

項	目	償		還		時	
		評	価	額	比	率	
				千円			%
	コール・ローン等、その他		555,276				100.0
	投資信託財産総額		555,276				100.0

（注）金額の単位未満は切捨て。

Bコース (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)

○資産、負債、元本及び償還価額の状況 (2016年4月20日現在)

項 目	償 還 時
	円
(A) 資産	555,276,951
コール・ローン等	555,276,951
(B) 負債	537,807
未払信託報酬	537,807
(C) 純資産総額(A-B)	554,739,144
元本	389,537,651
償還差益金	165,201,493
(D) 受益権総口数	389,537,651口
1万口当たり償還価額(C/D)	14,240円96銭

[元本増減]

期首元本額	494,855,994円
期中追加設定元本額	0円
期中一部解約元本額	105,318,343円

○損益の状況 (2016年3月16日～2016年4月20日)

項 目	当 期
	円
(A) 有価証券売買損益	△ 7,805,710
売買益	2,083,957
売買損	△ 9,889,667
(B) 信託報酬等	△ 537,807
(C) 当期損益金(A+B)	△ 8,343,517
(D) 前期繰越損益金	171,113,580
(E) 追加信託差損益金	2,431,430
(配当等相当額)	(2,538,111)
(売買損益相当額)	(△ 106,681)
償還差益金(C+D+E)	165,201,493

(注) 損益の状況の中で(B) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 当ファンドは、マザーファンドにおいて外貨建資産等の運用の指図権限をフィッシュ・アセット・マネージメントAGに委託しております。その費用として、委託者報酬のうち、販売会社へ支払う手数料を除いた額より、運用権限委託契約に定められた報酬額を支払っております。

○投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2012年5月18日			投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2016年4月20日			資 産 総 額	555,276,951円
区 分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負 債 総 額	537,807円	
受益権口数	4,099,000,000口	389,537,651口	△3,709,462,349口	純 資 産 総 額	554,739,144円	
元 本 額	4,099,000,000円	389,537,651円	△3,709,462,349円	受 益 権 口 数	389,537,651口	
				1万口当たり償還金	14,240円96銭	
毎計算期末の状況						
計 算 期	元 本 額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金		
				金 額	分 配 率	
第1期	1,717,720,817円	2,208,788,569円	12,859円	548円	5.48%	
第2期	717,455,798	987,250,265	13,760	260	2.60	
第3期	602,158,506	921,403,768	15,302	240	2.40	
第4期	494,855,994	715,320,275	14,455	0	0.00	

○償還金のお知らせ

1万口当たり償還金 (税込み)	14,240円96銭
-----------------	------------

シュローダー・グローバルCBマザーファンド 償還 運用報告書

この度、信託約款の規定に基づき、繰上償還の運びとなりました。ここに謹んで設定以来の運用状況と償還内容をご報告申し上げます。

【計算期間 2016年3月16日から2016年4月19日まで】

信託期間	2012年5月18日から2016年4月19日まで	
決算日	毎年3月15日。ただし、当該日が休業日の場合は翌営業日。	
運用方針	信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	海外の転換社債を主な投資対象とします。	
組入制限	株 式	株式の投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。
	外貨建資産	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額	騰落率		新株予約権付社債 (転換社債) 組入比率	債組入比率	券率	純資産額
		期騰	中率				
(設定日)	円 銭		%	%			百万円
2012年 5月18日	10,000		—	—		—	20,359
1期(2013年 3月15日)	13,488		34.9	90.4		—	15,406
2期(2014年 3月17日)	14,825		9.9	89.3		—	8,332
3期(2015年 3月16日)	16,881		13.9	62.4		27.4	7,305
4期(2016年 3月15日)	16,084		△ 4.7	9.5		61.2	5,601
(償還時)	(償還価額)						
5期(2016年 4月19日)	15,858.15		△ 1.4	—		—	5,239

(注) 基準(償還)価額は1万口当たり。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準価額	騰落率		新株予約権付社債 (転換社債) 組入比率	債組入比率	券率
		騰	落			
(期首)	円 銭		%	%		%
2016年 3月15日	16,084		—	9.5		61.2
3月末	15,928		△1.0	2.2		64.2
(償還時)	(償還価額)					
2016年 4月19日	15,858.15		△1.4	—		—

(注) 基準(償還)価額は1万口当たり。

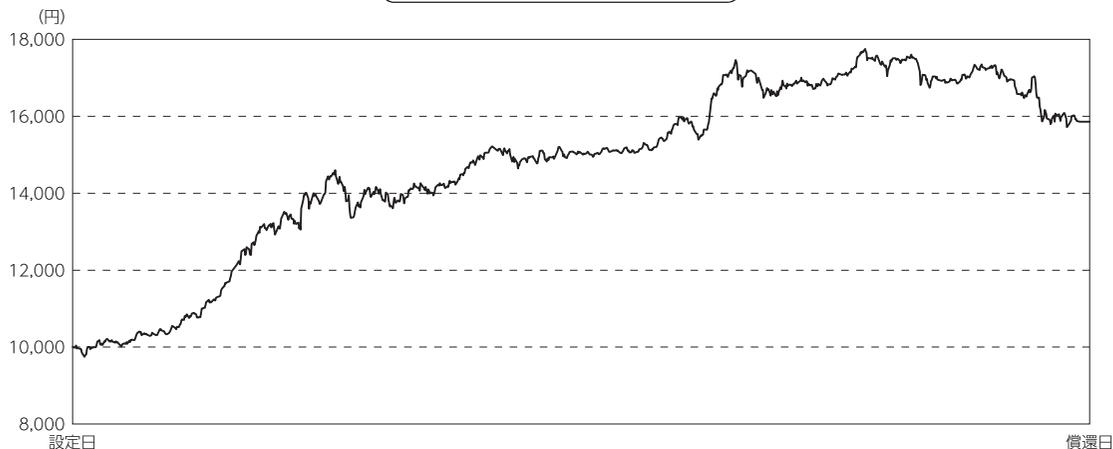
(注) 騰落率は期首比。

当ファンドはベンチマークおよび参考指数はございません。

設定以来の運用環境および運用経過等

(2012年5月18日から2016年4月19日まで)

設定以来の基準価額の推移



	設定日 (2012年5月18日)	設定来最安値	設定来最高値	償還日	
				(2016年4月19日)	騰落率 (設定日比)
基準価額	円 10,000	円 9,748	円 17,752	円 15,858.15	% 58.6

(注) 基準価額の騰落率は、小数第2位を四捨五入しております。

第1期（2012年5月18日から2013年3月15日まで）

市況について

[各CB市場につきましては、米ドルベース（為替ヘッジあり）の騰落率に基づきご説明いたします。]

当期、グローバルCB市場は上昇しました。地域別では、米国CB市場が特に上昇して、グローバルCB市場の上昇をけん引した一方で、アジアCB市場（除く日本）の上昇は米国や欧州CB市場と比較して限定的となりました。また、欧州CB市場の上昇幅はグローバルCB市場のインデックス並みの上昇となりました。アジアCB市場（除く日本）の上昇幅は米国、欧州等のその他の市場と比べて限定的に留まりました。為替相場は当期において円安が進行しました。

運用について

キャッシュフロー管理のため、適宜保有銘柄について売却を行う局面もありましたが、基本的には設定以来クレジット・クオリティの高い（信用力が高い）銘柄を中心に、地域やセクターにおいて分散されたポートフォリオ運営を継続しました。

第2期（2013年3月16日から2014年3月17日まで）

市況について

[各CB市場について、米ドルベース（為替ヘッジあり）の騰落率に基づきご説明いたします。]

当期、グローバルCB市場は上昇しました。地域別では、特に米国CB市場が上昇し、グローバルCB市場をけん引した一方、欧州CB市場の上昇幅はグローバルCB市場を下回り、アジアCB市場（除く日本）の上昇幅は限定的でした。為替相場は当期、円安米ドル高が進行しました。

運用について

キャッシュフロー管理のため保有銘柄の一部売却を行いました。設定来の運用方針に変更はなく、信用力の高い銘柄を中心とし、地域やセクターの分散されたポートフォリオを維持しました。

第3期（2014年3月18日から2015年3月16日まで）

市況について

[各CB市場について、米ドルベース（為替ヘッジあり）の騰落率に基づきご説明いたします。]

当期、グローバルCB市場は上昇しました。地域別では、米国CB市場は上昇しましたが、グローバルCB市場の上昇幅を若干下回りました。欧州CB市場は上昇し、グローバルCB市場の上昇幅を若干上回りました。アジア（除く日本）CB市場の上昇幅は米国、欧州CB市場に及びませんでした。為替相場は当期、円安米ドル高が進行しました。

運用について

キャッシュフロー管理のため保有銘柄の一部売却を行いました。設定来の運用方針に変更はなく、信用力の高い銘柄を中心とし、地域やセクターが分散されたポートフォリオを維持しました。

第4期（2015年3月17日から2016年3月15日まで）

市況について

[各CB市場について、米ドルベース（為替ヘッジあり）の騰落率に基づいた説明をします。]

当期、グローバルCB市場は下落しました。地域別では、米国CB市場は下落し、グローバルCB市場よりも大きい下落率となりました。欧州CB市場も同様に下落しましたが、下落率はグローバルCB市場を下回りました。アジア（除く日本）CB市場は各国主要CB市場の中では唯一上昇しました。為替相場は当期、円高米ドル安が進行しました。

運用について

当ファンドの投資対象CBは2016年5月までに償還もしくはプット行使日が到来する銘柄ですが、償還に向け短期国債の組入比率が高まりました。

第5期（2016年3月16日から2016年4月19日まで）

市況について

[各CB市場につきましては、米ドルベース（為替ヘッジあり）の騰落率に基づきご説明いたします。]

当期、グローバルCB市場は上昇しました。主要金融当局が追加緩和策の導入もしくは引き締めの見送りを行うなど、景気に配慮する姿勢を明確にする中、中国経済の先行きに対する過度の懸念が縮小し、市場センチメントが改善しました。原油価格については、2016年4月上旬にやや調整がみられたものの、2月下旬からの回復傾向を概ね継続しました。

為替相場は当期、円高米ドル安が進行しました。米国の利上げペースが緩やかになる見通しなどを背景として円買いが進み、107円台後半の水準まで達しました。

運用について

2015年夏以降、中国経済に対する懸念が急激に高まり、これが中国株のみならずグローバルの株式市場を急落させる原因となりました。市場では2016年に入っても慎重な投資姿勢が優勢となっており、CB市場も変動性の高い相場展開が見込まれます。

なお、当ファンドの投資対象CBは2016年5月までに償還もしくはプット行使日が到来する銘柄とされていたため、時間の経過とともにそうした銘柄は少なくなり、償還に向け短期国債の組入比率が高まりました。

○1万口当たりの費用明細

(2016年3月16日～2016年4月19日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円	%	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	1	0.004	・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 ・その他は、金銭信託手数料
(そ の 他)	(1)	(0.003)	
	(0)	(0.001)	
合 計	1	0.004	
期中の平均基準価額は、15,928円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2016年3月16日～2016年4月19日)

新株予約権付社債（転換社債）

		買 付		売 付	
		額	面 額	額	面 額
外 国	アメリカ	千米ドル	千米ドル	千米ドル	千米ドル
	ユーロ	—	—	2,000	2,222
	ベルギー	千ユーロ	千ユーロ	千ユーロ	千ユーロ
国	シンガポール	—	—	908	908
		千シンガポールドル	千シンガポールドル	千シンガポールドル	千シンガポールドル
		—	—	(2,000)	(2,000)

(注) 金額は約定代金。（経過利子分は含まれておりません。）

(注) 単位未満は切捨て。

(注) ()内は予約権行使・償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	アメリカ	国債証券	千米ドル	千米ドル
			—	30,049

(注) 金額は約定代金。（経過利子分は含まれておりません。）

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2016年3月16日～2016年4月19日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2016年4月19日現在)

2016年4月19日現在、有価証券等の組入れはございません。

○投資信託財産の構成

(2016年4月19日現在)

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	5,239,153	100.0
投資信託財産総額	5,239,153	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨て。

○資産、負債、元本及び償還価額の状況 (2016年4月19日現在)

項 目	償 還 時
	円
(A) 資産	5,239,153,060
コール・ローン等	5,239,153,060
(B) 負債	31,002
その他未払費用	31,002
(C) 純資産総額(A-B)	5,239,122,058
元本	3,303,740,703
償還差益金	1,935,381,355
(D) 受益権総口数	3,303,740,703口
1万口当たり償還価額(C/D)	15,858円15銭

[元本増減]

期首元本額	3,483,018,082円
期中追加設定元本額	50,300,867円
期中一部解約元本額	229,578,246円

[当マザーファンドの当期末における元本の内訳]

シュローダー・グローバルCBファンド Aコース (為替ヘッジあり)	(適格機関投資家専用)	2,871,611,554円
シュローダー・グローバルCBファンド Bコース (為替ヘッジなし)	(適格機関投資家専用)	432,129,149円

○損益の状況 (2016年3月16日～2016年4月19日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	4,349,220
受取利息	4,349,220
(B) 有価証券売買損益	△ 81,831,846
売買益	1,426,632
売買損	△ 83,258,478
(C) 保管費用等	△ 208,133
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 77,690,759
(E) 前期繰越損益金	2,118,921,716
(F) 追加信託差損益金	29,471,277
(G) 解約差損益金	△ 135,320,879
償還差益金(D+E+F+G)	1,935,381,355

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。